

「はしか（麻疹）」はご存知でしょうか？  
昨年12月に小牧市内の医療機関より、「はしか（麻疹）」の発生届が提出されました。  
感染力がとても強く、手洗い、マスクのみで予防できない病気です。  
今回は、そんな「はしか（麻疹）」について紹介します。

## 【はしか（麻疹）】

- ①感染してから症状が出るまで10日間程。
  - ②38度前後の発熱が2～4日続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。
  - ③その後、高熱（多くは38度以上）が出るとともに、発疹が出現します。発疹は、口の中の頬の内側に**コプリック斑**という、特有の症状が出ます。
  - ④その後、**赤い小さい発疹**が顔や体へと広がります。
  - ⑤その後、多くは7～10日で症状が回復します。
- ※肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発生すると言われています。



コプリック斑



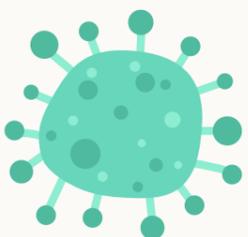
発疹の様子

## 対策



MRワクチン（麻しん・風しん混合ワクチン）の**予防接種が最も有効な対策**です。  
2回接種します。  
公費による1回目は**1歳～2歳未満**です。  
2回目は**5～7歳未満**で小学校就学前に接種します。

## 空気感染とは？



麻しんの感染経路は飛沫・接触・空気感染です。  
空気感染は、空気中の塵など目に見えない小さなウイルスや菌を吸い込むことによって感染します。  
空気であるため、同じ空間に滞在するだけで感染します。  
「はしか（麻疹）」は、免疫を持っていない人が感染すると**100%発症**します。  
麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下と言われています。